

脱炭素社会の実現に向けた イオンの取り組み

2021年2月15日

イオン株式会社

三宅 香

イオン 脱炭素ビジョン2050

イオンは、3つの視点で温室効果ガス（以下CO₂等）排出削減に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献します。

店舗

店舗で排出するCO₂等を2050年までに総量でゼロにします。

商品・物流

事業の過程で発生するCO₂等をゼロにする努力を続けます。

お客さまと
ともに

すべてのお客さまとともに、脱炭素社会の実現に努めます。

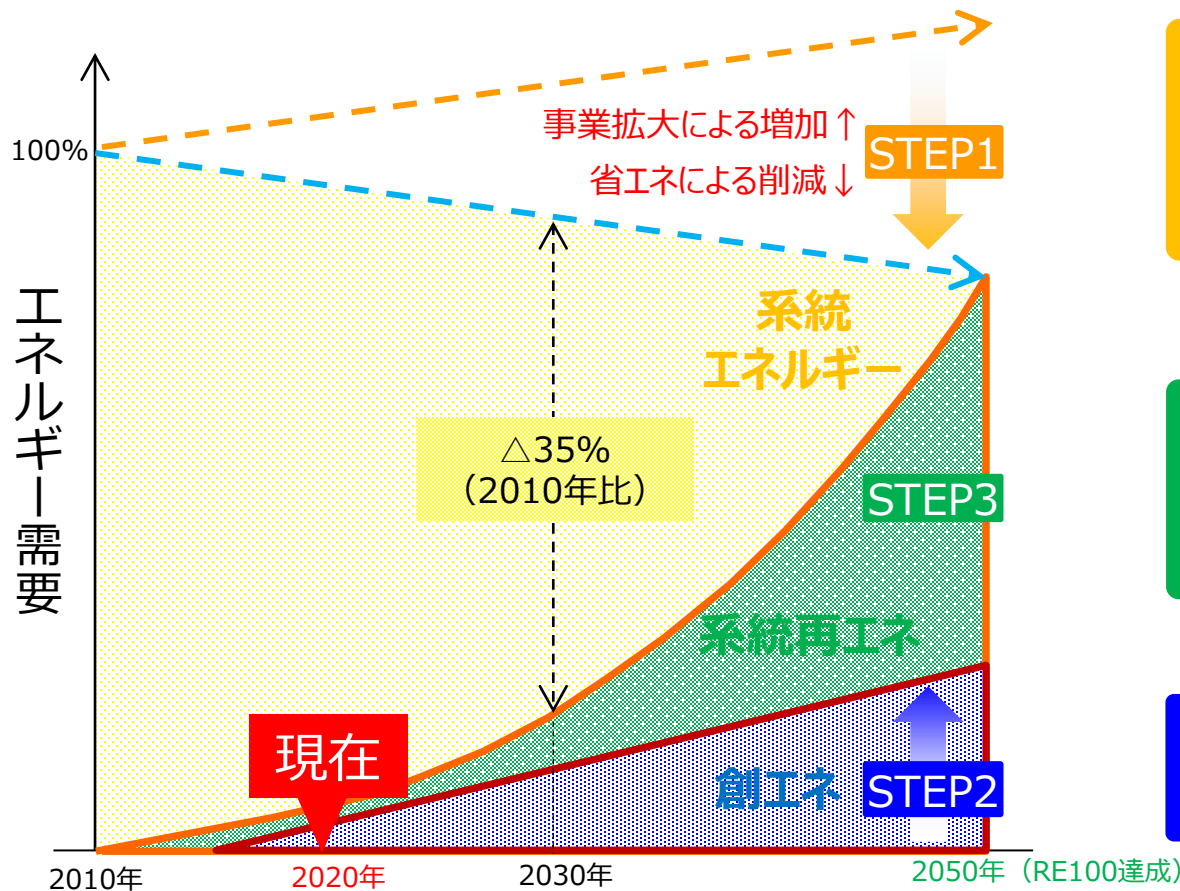
中間目標

2030年までにCO₂排出量
35%削減（2010年比）

※SBT認定

■ 省エネと創エネの推進（再エネ調達）で脱炭素化を目指す

【脱炭素化へのアプローチ】



省エネ

- 運用改善
- 省エネ機器導入
- スマートイオン推進

電力系統の
CO2削減

- 卒FIT電源購入
 - CO2フリーメニュー購入
 - 非化石証書購入

創エネ

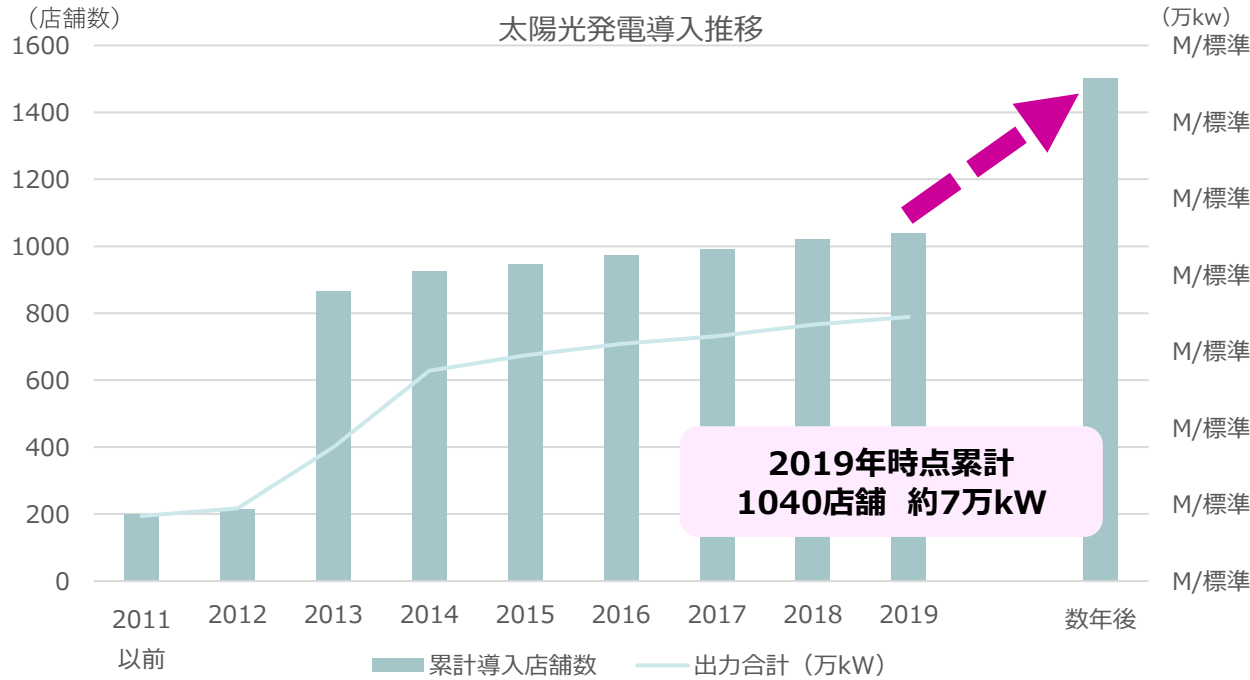
- 再エネ電源新設
- オンサイトPPA

■ 2004年～太陽光発電を中心に、積極的な再エネ調達

イオンモール座間(2018年3月開店、1,001kW)

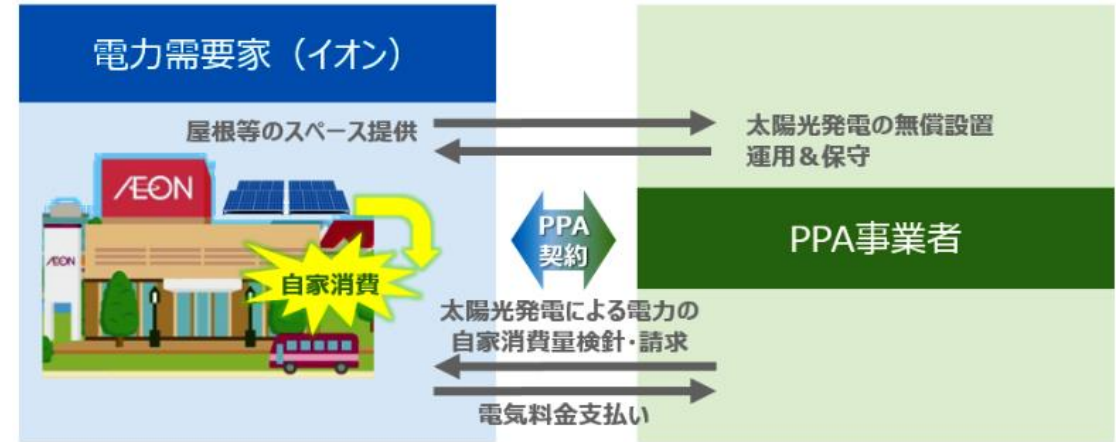


■ 太陽光発電 ～ オンサイトPPAによる再エネ調達



■ オンサイトPPAの積極的な推進

PPA事業者が店舗屋上へ自家消費型ソーラーを設置。発電した電気は店舗で自家消費する。発電事業者がパネルの調達から設置、運用保守まで手掛け、店側は初期投資や運用コストの負担もなく、通常と同様に電力料を支払う。



イオン藤井寺SC 2019年9月受電開始



イオンモール津南 2020年6月受電開始



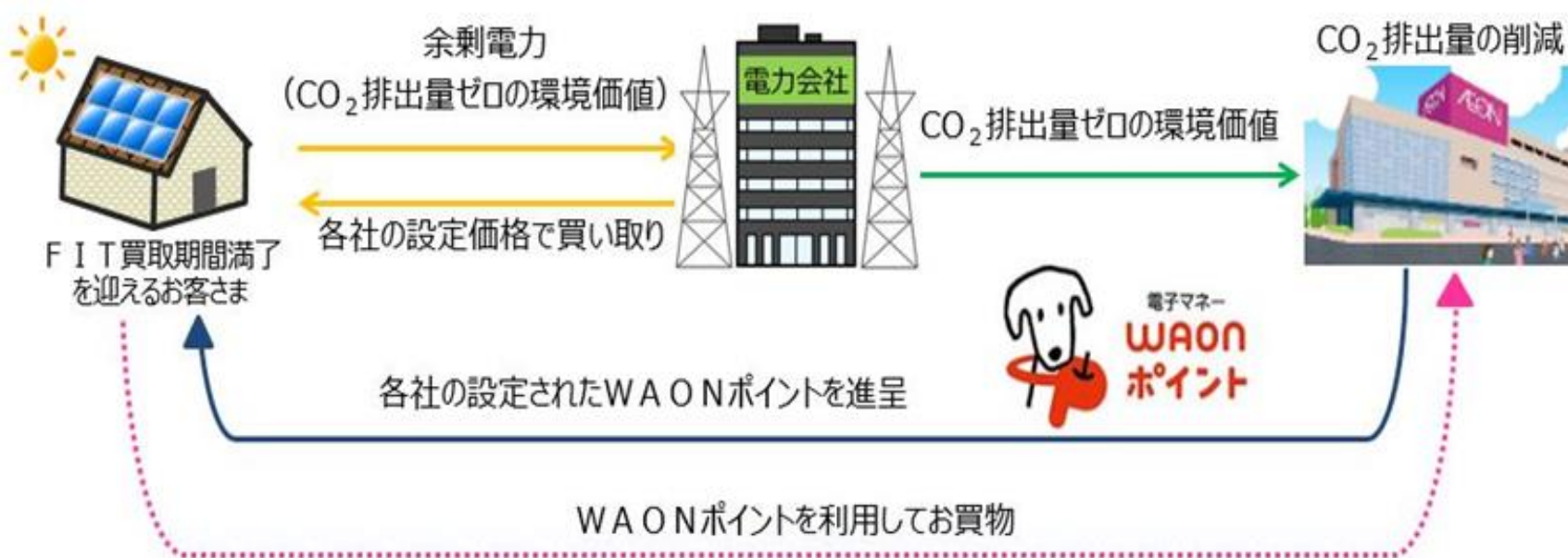
イオンタウン湖南 2020年9月受電開始

2020年4 SCで
受電開始
↓
今後PPAを順次導入
200カ所のポテンシャル

イオンの再エネ調達

■ 卒FIT余剰電力を活用した店舗の再エネ化

FIT終了世帯からイオンの店舗へ提供した余剰電力の量に応じてWAONポイントを進呈するサービス



2020年
中部エリアで
年間再エネ調達量
約1,600万kWh

各SCにおける消費電力の
約25%相当分を卒FITから調
達した再エネでカバー



イオンモール名古屋茶屋



イオンモール岡崎



イオンモール長久手